

神田外語大学CUP主催「幕張チャリティ・フリーマーケット」(幕チャリ)売上金のACTへのご寄付に関連する、ACT一般基金 助成事業概要 (2006年～2010年)

幕チャリよりACTにご寄付いただいた年度	ご寄付金額	幕チャリ関連記事	該当助成事業年度	助成事業実施国、地域	助成事業名	実施団体名	事業概要	受益者数	助成額	うち一般基金からの助成額	助成事業の関連記事
2006年度 (2006年5月幕チャリ売上金)	65万円	2006年9月22日に神田外語大学においてACTが講演(ACT2005年報P25に掲載)	2007年度	フィリピン ミンダナオ	ピキット平和教育・地域社会能力強化センター事業 (3年計画の3年目)	ICP総合復興プログラム (ICP-IRP)	長年におわたって紛争が続く地域の住民の安全を尊重し保護することが約束された「平和のスペース」に、地域住民の平和教育を行う「平和センター」とITを活用した能力構築を行う「研修センター」を設立し、住民の相互理解と武力紛争の対立防止を図る。	965世帯(6,755人)	220万円	150万円	ACT年報2007 P6下
			2007年度	フィリピン ミンダナオ	傾斜地農法を活用したマニラ麻栽培による生計向上と土壌保全事業(3年計画の1年目)	コミュニティ・オーガナイザーズ・マルチパーソン ティ(COM)	ミンダナオ島スルタン・クダラート州の山岳地帯で焼畑農業を営む、先住民、イスラム教徒、キリスト教徒が共存するコミュニティに生態系に適する農法を導入することで、土壌侵食防止効果が期待され、市場ニーズが高いマニラ麻の生産・販売と環境保全型農業の両立を推進する。	農民150人	160万円	30万円	ACT年報2007 P7下
			2007年度	カンボジア カンボット州7郡	132カ村の農民グループの農業技術相互交流・学習活動を通じた自給自足農家の生計改善(3年計画の1年目)	カンボジア農業開発研修センター(CEDAC)	農業の集約化と多様化を通じ、自給自足稲作農家(3年間で132村計8千世帯)の食料生産と所得を高め、社会状況を改善する。農民リーダーを養成し、他の農民の指導・支援にあたる。	農民8,000人(7郡132村)	200万円	40万円	ACT年報2007 P9下
2007年度 (2007年5月幕チャリ売上金)	130万円	ACT2006年報P14	2008年度	フィリピン ミンダナオ	傾斜地農法を活用したマニラ麻栽培による生計向上と土壌保全事業(3年計画の2年目)	コミュニティ・オーガナイザーズ・マルチパーソン ティ(COM)	ミンダナオ島スルタン・クダラート州の山岳地帯で焼畑農業を営む、先住民、イスラム教徒、キリスト教徒が共存するコミュニティに生態系に適する農法を導入することで、土壌侵食防止効果が期待され、市場ニーズが高いマニラ麻の生産・販売と環境保全型農業の両立を推進する。	農民150人	245万円	65万円	ACT年報2008 P7上
			2008年度	カンボジア カンボット州7郡	132カ村の農民グループの農業技術相互交流・学習活動を通じた自給自足農家の生計改善(3年計画の2年目)	カンボジア農業開発研修センター(CEDAC)	農業の集約化と多様化を通じ、自給自足稲作農家(3年間で132村計8千世帯)の食料生産と所得を高め、社会状況を改善する。農民リーダーを養成し、他の農民の指導・支援にあたる。	農民8,000人(7郡132村)	315万円	175万円	ACT年報2008 P9上
2008年度 (2008年5月幕チャリ売上金)	202万円	ACT2007年報のP14に(2008年5月実施幕チャリ)、および2007年度助成事業実施団体関係者オマル氏(フィリピン)との会合報告	2009年度	フィリピン セブ	セブ埋立地の影響を受けた4地区住民の生計向上と能力強化(1年計画)	セブ都市貧困者連合 (PANAGHUGPONG-KADAMAY-Cebu)	1997年より始まった「セブ南部埋め立て事業(CSRP)」と「セブ南部海岸道路建設事業(CSCR)」により影響を受けたセブ市内の4つのバラガイにある住民組織を通じ、4種類の収入向上活動(漁業、米・穀物小売、魚小売、養豚)と、参加4住民組織のリーダーおよびメンバーを対象とした能力向上トレーニングを実施する。	201世帯(漁民40人、女性82人、ゴミ収集者79人)	200万円	36万円	
			2009年度	カンボジア カンボット州7郡	132カ村の農民グループの農業技術相互交流・学習活動を通じた自給自足農家の生計改善(3年計画の3年目)	カンボジア農業開発研修センター(CEDAC)	農業の集約化と多様化を通じ、自給自足稲作農家(3年間で132村計8千世帯)の食料生産と所得を高め、社会状況を改善する。農民リーダーを養成し、他の農民の指導・支援にあたる。	農民8,000人(7郡132村)	310万円	165万円	
2009年度 (2009年5月幕チャリ売上金) (2009年10月浜風祭での売上金)	184万円	ACT2008年報 P21	2010年度	カンボジア プレアピファ州、シエムリアップ州、オッタール・ミーンチェイ州	マイクロファイナンスを通じた農村地域の雇用創出(新3年計画の1年目)	農民の生計開発団体 (FLD)	有機農業をベースとした農業技術の指導と零細規模事業を行う融資、貯蓄活動を行う。2007-2009年度の対象地域(プレアピファ州)に加え、プレアピファ州、シエムリアップ州、オッタール・ミーンチェイ州の計68村の貧農2,390世帯を対象とする。	貧農2,390世帯(うち2010年度以降の新規対象は1,200世帯)	265万円	100万円	
			2010年度	カンボジア コンボン・チュナン州	コンボン・チュナン州稲作農家5千世帯の生計改善(新3年計画の1年目)	カンボジア農業開発研修センター(CEDAC)	コンボン・チュナン州コンボン・トララックおよびサムキー・ミーンチェイ郡の計16コミュニティ(93村)の自給自足農家5千世帯を対象に、農業の集約化と多様化を通じ、食料生産と所得を高め、社会状況を改善する。農民リーダーを養成し、他の農民の指導・支援にあたる。	農民5,000世帯(最低)(2郡16コミュニティ内93村)	300万円	45万円	
	7.4万円		2010年度	カンボジア	カンボジア現地機関、NGOのマイクロファイナンス技術トレーニング(3年計画の3年目)	農業・農村開発センター(CARD)カンボジア連絡事務所	1988年度から1994年度にACTから支援を受けた後急成長し、フィリピン最大規模のマイクロファイナンス機関となったCARDのカンボジアが、NGOからマイクロファイナンス機関となったカンボジア現地パートナー機関と、ACTのカンボジア現地パートナーNGO5団体を対象に、財務強化、リスクマネジメント、財政運営トレーニングなどを行う南南協力。	現地マイクロファイナンス機関2機関、現地NGO3団体のスタッフ計170人	120万円	57万円	朝日新聞 朝刊2010年3月6日 10面
合計	588.4万円								2,335万円	863万円	